

あなたと町政を結ぶ



# みのぶ 議会だより

2023  
6月定例会  
No. 75

## 祝身延山開創750年



○町民と議員との懇談会	2
○第2回定例会・第2回臨時会議案説明	5
○常任委員会レポート	8
○議案に対する賛否	11
○一般質問（8人）	12
○町長行政報告	21
○議会広報モニター意見交換会	22
○モニター通信	23
○おじゃまします	24

身延山御入山行列の様子（R5.6.18）

日時：令和5年5月13日（土）午後7時30分～午後9時15分

会場：中富地区西嶋分館

参加者：計32人（町民18人・町議12人・事務局2人）

## 質疑応答



**Q** 予算書歳入欄に借金である町債の掲載の説明を。（西嶋地区 男性）

**A** 町債は借金ですが、各特例債などがあり7割位は地方交付税で財政措置されます。町の実質負担は1割から2割程度です。その返済は、歳出欄の公債費になります。

**Q** 令和5年度予算の主な工事の中で、1億8700万の取り付け道路工事は、以前検討されたバイパスへの接続工事が。（静川地区 男性）

**A** バイパスへの接続工事とは関係なく国道から新中学校までの道路整備費と土地購入費です。

## 提言・意見・要望

○議員定数は、県内市町村と比べると現状の14名から12名に削減すべきであり、政務活動費年間6万円だが、報酬費も6万円の増額は上げ過ぎた。

○報酬費の増額は、県内の状況から妥当と考える。議員定数問題は、議員の議会での政策提言や将来展望を執行部とどのように取り組んで来たか絡めて考えるべきだ。

○議会の土日開催を検討してほしい。

○合併当時の特例債は86億7000万円だが、令和6年度発行できる額は1億2000万円だ。交付税措置されても借金は増える。議会は公共工事を極力抑え、無駄を無くすよう執行部と戦ってほしい。

○町営住宅の入居条件が多すぎる。若者をはじめ誰でも入居できる住宅を作ってほしい。また宅地造成を進め、若者が定住しやすい環境整備をしてほしい。

○旧久那土中学校など使われなくなった施設の再利用を考えてほしい。

○地震、大雨などの大規模災害時、避難所には電気、水の確保は重要だ。ソーラーシステムの設置や井戸の確保などの体制整備をしてほしい。

○スポーツ温泉施設だが、オープン記念として町民に優待券の配布をしたらどうか。町民が利用した感想を發していただくことが効果的な宣伝になると思う。

○無料耐震診断がより多くの町民が診断を受けられるためにホームページだけでなく、広報誌などで継続的に情報提供をお願いしたい。

○新中学校、給食センターなど新しく建設され、町民が関心のある施設を対象としたツアーを企画してもらいたい。

○防災訓練に危機感が無い。研修会を各地区の役員を対象に開き、有事の具体的な行動の訓練が必要だ。

○積極的に動く自治体に有利な補助金がある。令和5年度の主な公共工事は義務的なもので積極的なものがない。少子高齢化に対応した唯一無二の攻めの行政運営をお願いしたい。

## 下部地区

## 町民と議員との懇談会

日時：令和5年5月20日（土）午後7時30分～午後9時16分

会場：久那土出張所（働く婦人の家）

参加者：計35人（町民20人・町議13人・事務局2人）

### 質疑応答



**Q** 県に要望を出している道路建設について、町も議会も優先順位をつけて進めていただきたい。（下部地区・男性）

**A** 議会にて検討していきます。

**Q** 指定管理者が雇用保険や労災保険に加入していない。（下部地区・男性）

**A** 指定管理者より適正に加入していると回答がありました。すでに身延町のホームページにて報告しております。

**Q** 久那土中学校に入っているホバーバイクの「株式会社 A.L.I. Technologies」の活動実態がわからない。防災の日などにデモンストレーションなどできないか。

**A** 町へ要望します。（久那土地区 男性）

**Q** 災害時に避難場所がいっぱいで入ることができなかった。どこに避難したらいいのかわからなく困っている。避難できる場所を教えてください。

**A** 避難場所を町から示しているが、再度検討してもらいます。（身延地区 女性）



町内の  
避難場所一覧

**Q** トレーニングジム機器の説明を掲示してほしい。（下部地区・男性）

**A** 町を通して指定管理者であるサンロードに改善を求めます。

### 提言・意見・要望

○今年も区長会が中止になった。町民とのコミュニケーションの場の提供をお願いしたい。

○しもべの湯に行ったらよかった。利用促進のため一世帯一枚の無料チケットを配布したらどうか。

○議員報酬の増額は、コロナ禍で生活がたいへんなときなので、今はすべきではない。また議員選挙にて問うべきではないか。

○議員報酬の増額を進めていただきたい。

○小学校の入学人数が少ない。複式学級があるのか、子どもを増やす努力をしてほしい。

○令和6年度より上下水道が公営企業会計になる。利用者の負担増にならないようにしてもらいたい。

○給食センターの調理と業務委託についてですが経費削減、効率化はなされているか。なぜ増額になるのか。

日時：令和5年5月27日（土）午後7時30分～午後9時20分

会場：身延地区公民館豊岡分館

参加者：計31人（町民17人・町議12人・事務局2人）



## 質疑応答

**Q** 福祉関係（生きがい広場）利用者が増えている。週1回しか利用できないが、2回・3回と利用できるようにならないか。（豊岡地区 男性）

**A** お願していたが、介護保険の関係で、1回との事でした。

**Q** 中学校の建設に伴い、子ども達の通学の様子がどのようになるのか、予定など教えてほしい。（豊岡地区 男性）

**A** 停車希望等把握している所で、今後8月頃に説明会を実施予定と聞いている。停車場等の話し合いが行なわれる予定である。

**Q** 人口減少の中、地域活性化が重要である。地域造りから始め町造りに繋げることが重要、議員の考えを何人か伺いたい。（豊岡地区 男性）

**A** ・ゆるキャン△と連携した活動について・あけぼの大豆の拡大について・西島和紙拠点利用による活性化について・町の子育て支援充実について、4名説明。

**Q** 健康増進施設しもへの湯について、年2000万円・15年とあるがこれは建設費なのか、この金額は何か。（豊岡地区 男性）

**A** 維持管理費です。建設費ではありません。

**Q** 議会で社会福祉費について納めなくていいのが質問しているが、町側からの答弁はどうだったのか。（豊岡地区 男性）

**A** 町側から強制では無いので、個人で判断してくださいとの答弁でした。

## 提言・意見・要望

○生きがい広場のヘルパーさんが不足している。資格取得に研修や費用が掛かる。町で経費の補助を検討してほしい。

## 懇談会の目的

身近な議会の実現と議会の活性化を図るため、議員が議会の状況や課題の取り組み状況について報告し、町民の皆さまからの意見や要望を聴き、意思の疎通を図ることを目的に実施しています。

懇談会での質疑応答、提言・意見・要望については、抜粋しています。

○公民館や分館にWiFiが繋がるようにしてほしい。災害発生時の避難所としているが連絡がつかない、携帯がつかない、提案です。

○大城区と交流している静岡県梅ヶ島地区間をトンネルで結ぶ話（林道豊岡梅ヶ島線）があり、静岡側では話が進んでいる。議会の支援をお願いする。

○相又峡パークがそのままの状態である。桜も綺麗でそばを流れる川は地域の水源になっている。キャンプ場など施設の利用を検討してほしい。

○最近相又でNHKの取材があった。外国人や他県からの移住者に対する生活や外国人児童達（大野山保育園）の様子を取材した。移住生活について議会でも理解し、援助してほしい。

# 第2回定例会及び第2回臨時会の主な議案and決まったこと

第2回定例会は、令和5年6月5日から6月9日までの5日間の会期で開催された。今定例会では、町長から提案された報告3件、条例の一部を改正する案2件、一般会計補正予算案1件、特別会計補正予算案4件、契約案1件、人事案件16件の合計27案件が審議され、いずれも可決されました。なお、6月6日の一般質問では8人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な質問が展開され、町当局の考え方を問いただした。

第2回臨時会は、令和5年5月22日に開催され、専決処分（条例の一部改正案3件、一般会計補正予算案1件）、一般会計補正予算案1件、財産の取得案3件、工事請負契約一部改正案1件の9件が可決された。

## 第2回定例会

### 条例の一部改正

●身延町町営バス設置条例の一部を改正する条例について

・停留所の位置及び名称を変更し、町営バス利用者の利便性の向上を図るため。

○第7条第3項中「木喰橋」を「道の駅しもべ」に改める。



道の駅しもべ駐車場入口

●身延町学校給食センター条例の一部を改正する条例について

・現在使用している学校給食センターを廃止し、新たな学校給食センターを稼働させるため。

○第2条の表を次のように改

める。  
名称  
身延町学校給食センター  
場所  
身延町下山  
10133番地26

### 補正予算

●令和5年度身延町一般会計補正予算（第3号）

・歳入歳出にそれぞれ1億4748万8000円を追加し、歳入歳出の総額を106億2247万9000円とする。

○主な増額の内訳

（歳入）

・国庫支出金 9681万円  
・県支出金 80万円  
・繰入金 56万円  
・繰越金 3703万円  
・諸収入 2236万円  
（歳出）

・総務費

商品券配布事業

5699万円

（町民1人当たり500

0円の身延町みのワン商

品券を配布）

医療機関・社会福祉施設等物価高騰重点支援事業

1460万円

（支給対象）身延町内に住所を有する医療機関、

高齢者施設、障がい者施設等及び民間保育所

（支給額）

各該当施設へ10万、

100万円の支給

（支給開始見込）

令和5年8月中を想定

電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事務・事業費

5474万円

（支給対象）

令和5年度の住民税非課税世帯

（支給額）

1世帯当たり3万円

（支給開始見込）

令和5年8月中を想定

・商工費

峡南地域観光振興会議

推進事業及びアニメツーリズム推進事業負担金

172万円

・土木費

道路橋梁維持管理費・新設改良事業費

令和5年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出にそれぞれ794

万4000円を追加し、歳

入歳出の総額を5億520

6万9000円とする。

令和5年度身延町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出にそれぞれ35万8

000円を減額し、歳入歳

出の総額を16億3110万

1000円とする。

○主な増額の内訳

・(歳入)  
繰入金

797万7000円

・(歳出)

・簡易水道管理費

1386万円

●令和5年度身延町下水道事業特別会計補正予算算(第1号)

・歳入歳出にそれぞれ23万円を減額し、歳入歳出の総額を3億5402万2000円とする。

### 財産区管理会委員の選任

●身延町仙王外五山恩師林保護財産区管理会委員の選任について

・氏名 遠藤克也(下山地区)

●身延町下山地区財産区管理会委員の選任について

・氏名 遠藤克也(下山地区)

### 農業委員会委員の選任

●身延町農業委員会委員の選任について

・氏名 久保田茂和(門野地区)

・氏名 望月信善(大野地区)

・氏名 笠井雄一(西嶋地区)

・氏名 二宮喜昭(車田地区)

・氏名 渡邊龍巳(常葉地区)

・氏名 上田 博(三澤地区)

・氏名 山下 貴(下山地区)

・氏名 遠藤克也(下山地区)

・氏名 赤池良久(中ノ倉地区)

・氏名 河西美恵子(福原地区)

・氏名 笠井哲也(寺沢地区)

・氏名 瀧川澄夫(樋之上地区)

・氏名 伊藤文雄(下田原地区)

・氏名 土橋一彦(飯富地区)

### 第2回臨時会

#### 専決処分

●身延町税条例の一部を改正する条例

・令和5年度税制改正の大綱に基づき、地方税法等の一部を改正する法律が令和5年4月1日から施行されることに伴う一部改正。

○主な改正点

・個人町民税において、令和6年度より森林環境税の課税が開始され、町民税均等割りと併せて1人年額1000円が課税。  
・軽自動車税において、燃費

性能の優れた自動車の普及を促進する観点から、①環境性能割の税率区分の見直し②グリーン化特例の延長見直し③特定小型原動付自転車の車両区分創設に伴う対応など。

●身延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・国民健康保険施行令の一部を改正する政令が令和5年4月1日から施行されることに伴う一部改正。

○主な改正点

・国民健康保険税について、課税限度額の引き上げがされ、後期高齢者支援金分を20万円から22万円に引き上げた。  
・国民健康保険税の減額措置について、軽減判定所得の基準額の見直しが行われた。

●身延町国民健康保険税条例及び身延町介護保険条例の一部を改正する条例

・新型コロナウイルス感染症の影響による令和4年度分国民健康保険税及び令和4年度分介護保険料の減免に

係る保健者に対する財政支援が引き続き実施されることに伴う一部改正。

○主な改正点

・令和4年度における国民健康保険及び介護保険の被保険者が遡及等により資格を取得した場合の取扱いに対応するため、納期限を1年延長する措置を講じた。

●令和5年度身延町一般会計補正予算(第1号)

・歳入歳出にそれぞれ5526万円を追加し、歳入歳出の総額104億6526万円とする。

○主な増額の内訳

・(歳入)

・国庫支出金 5502万円

・諸収入 23万円

・(歳出)

・衛生費

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事務費

2591万円

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費

2935万円

### 契約

●町道本町富山橋線道路改良工事請負契約について

・契約方法 一般競争入札

・契約金額

1億8348万円

・契約の相手方

早野組・八木沢興業町道本町富山橋線道路改良工事共同企業体

## 補正予算

### 令和5年度身延町一般会計 補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ973万1000円を追加し、歳入歳出の総額を104億7499万1000円とする。

#### ○主な増額の内訳

(歳入)

・国庫支出金 434万円  
・県支出金 425万円  
・繰越金 114万円

(歳出)

・総務費  
子育て世帯生活支援特別給付金事務費・事業費 859万円

・民生費  
特定教育・保育施設費 114万円

## 財産の取得

### ●普通消防積載車3台

・身延町消防団消防車両・可搬ポンプ更新計画に基づき、消防団に配備された小型動力ポンプ積載車を更新する必要があるため。

・配備先

身延第2分団第4部  
下部第2分団第1部  
下部第2分団第4部

・契約方法 指名競争入札  
・購入金額 2929万円  
・購入先 有限会社下部自動車

### ●可搬式消防ポンプ5台

○身延町消防団消防車両・可搬ポンプ更新計画に基づき、消防団に配備された可搬式消防ポンプを更新する必要があるため。

・配備先

身延第2分団第4部  
下部第1分団第2部  
下部第2分団第1部

同 第2部  
同 第4部  
・契約方法 指名競争入札  
・購入金額 1086万2500円  
・購入先 有限会社井出デバリ商店

### ●複合遊具1基、ステンレス 低鉄棒1基

○遊具点検により不適合となった身延小学校中庭の遊

具を更新する必要があるため。

・契約方法 指名競争入札  
・購入金額 432万1900円

・購入先 スポーツショップモチツキ

## 変更契約

### ●ヤマメの里撤去工事請負契約の一部変更について

○工事内容の一部である表土掘削及び運搬について産業廃棄物の撤去等を除いた数量に変更する必要があるため。

・契約に係る変更内容  
(変更前の金額)

5093万円

(減額する金額)

1492万1500円

(変更後の契約金額)

3600万8500円



身延中学校新校舎のドローン撮影 (R5.7.4撮影)

# 常任委員会レポート

委員会は、議会に提出された議案などを、集中的に審査するために設置された議会の内部機関です。常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があり、設置は条例で定められています。現在設置されている常任委員会は、予算決算常任委員会、総務産業建設常任委員会、教育厚生常任委員会の3委員会です。委員会では、付託された議案について、質疑等により所管課から説明を受け、審査を行います。審査が終わると採決が行なわれ、委員会としての賛否が決定し、再び本会議での議題となります。ここではその審査内容を掲載しています。



▼現地調査（6月7日） ヤマメの里撤去工事現場（下部地区 栃代地内）

予算決算常任委員会

委員長  
望月 悟良

▼議案第46号  
令和5年度一般会計補正  
予算（第3号）

**山下利彦委員** 和紙の里の  
人件費の増額理由は、

**総務課** ふれあい館について  
は、道の駅の建設を予定し  
ており、そのための職員配  
置、和紙の里については、  
人事異動により給料表の上  
級の職員へ配置換えされた  
ことによる増額である。

**山下利彦委員** 職員数は他の  
自治体と比べてどうか。

**総務課** 面積的な事もある  
が、人口から言えば多い方  
である。支所や生涯学習施  
設への配置により、多く  
なっている。

**佐野昇委員** 短時間勤務職員  
は、勤務時間が短時間であ  
るという条件で採用してい  
るのか。

**総務課** その通りである。

**渡辺文子委員** コミュニティ  
助成事業補助金の内容は、

**企画政策課** 小田船原区のコ  
ミュニティ活動備品整備事  
業として、エアコン3台設

置、空気清浄機2台、照明  
器具8台他購入と、西嶋地  
域活性化委員会による夏季  
開催西嶋イルミネーション  
のイベント使用備品整備事  
業として、西嶋手漉和紙灯  
50個、油障子4枚、投光器  
7台他購入である。

**田中一泰委員** コミュニティ  
助成事業補助金の財源は、

**企画政策課** 一般財団法人自  
治総合センターによるコ  
ミュニティ助成事業助成金  
である。

**田中一泰委員** 助成事業の区  
等からの申請の進め方は、

**企画政策課** 自治総合セン  
ターによる助成事業募集の  
案内に合わせて、町広報に  
より広く周知する。その後、  
区や団体からの申請により  
応募を行なう。例年助成事  
業があるため、ご相談によ  
り区や団体には助成事業を  
効果的に活用してもらえ  
よう案内をしている。

**遠藤公久副委員長** 矢細工の  
耐震貯水槽工事中止の経緯  
と今後の見通しは。

**交通防災課** 国の補助金の採択がされなかったため、事業見送り。現地には小さいながらも貯水槽が在るの  
で、来年度、再度補助申請し設置を要望していく。

**山下利彦委員** コロナ交付金総額と今後の交付見込みは。

**財政課** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金として、2通りの交付金を計上した。推奨事業メニュー分として5940万8000円、低所得世帯支援枠分として4092万7000円。そのうち低所得世帯支援分は対象世帯の7割分が今回交付され、不足分は12月に調査のうえ追加交付される予定である。

**渡辺文子委員** 障害福祉事業費使用料のスポーツ健康増進施設無料回数券は、何人分を計上したのか。

**福祉保健課** 交付対象の3級以上の身体障害者手帳所持

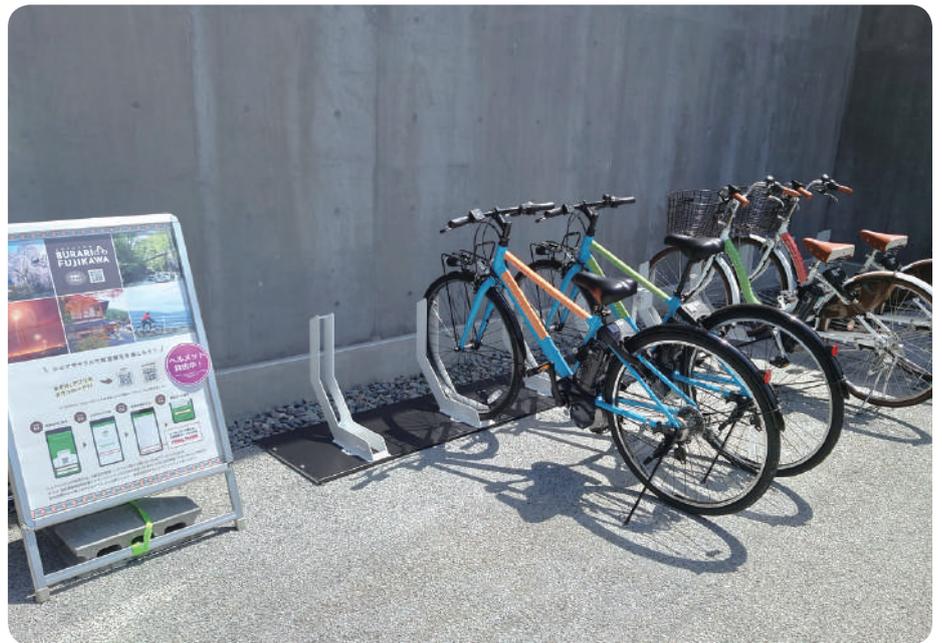
者は、現在約400人である。その1割の40人分を計上した。

**伊藤達美委員** 商品券配布事業について過去にも事業を実施しているが事業検証は行っているのか。

**観光課** 事業者に対してのアンケート調査実施、商品券使用状況（換金率）などで検証を行なっている。

**深山光信委員** 峡南地域観光振興会議推進事業及びアニメツーリズム推進事業負担金の内容。

**観光課** 峡南ネクスト共創会議で取り組む事業になる。峡南地域観光振興会議推進事業では、年6回程度のワークショップの開催、峡南地域の観光市場分析調査、参加者の研修会を予定している。アニメツーリズム推進事業では、峡南地域のゆかりのあるアニメを活用しながら峡南地域を周遊するような事業を想定している。いずれも山梨県、峡南5町の関係者と協議しながら内容を精査し事業を進



峡南ネクスト共創会議シェアサイクル事業  
電動自転車（しもべの湯）

援ということだと思っが、どういふ結果となっているのか。

**子育て支援課** この事業は各保育所で個々の成長に合わせた取り組みを行なっている。その中で昨年度行なった静川保育所の実践発表の内容が評価を受け、三重県に行き、発表することになった。

**佐野昇委員** 目標地図とはどのようなものか。

**産業課** 土地の所有者に対して意向調査を実施し、作成した現況地図をもとに、地域の農業関係者及び農業委員と連携を図り、10年後の農地のあるべき姿を地図上に落とし込んだもの。高齢化社会に伴い農業者が減少傾向にあるなか、現在荒廃地となっている農地や、農業後継者がなかなか見つからないといった課題があるなか、その農地を担い手へ集積していくことを目的としている。

めていく。

**渡辺文子委員** 母子衛生費事務費の旅費の内容はどのようなものか。

**子育て支援課** 令和2年度から、CLMという発達の特性のある園児を見つける、育てる取り組みを実践している。発祥の地である三重

県において開催される、実践発表会に参加するための旅費である。

**渡辺文子委員** 発達特性のある子どもたちが増えてきていることは聞いています。個別計画の内容は、どのような子どもたちへの支



国道 52 号から新中学校への取りつけ道路改良工事（町道本町富山橋線）

**渡辺文子委員** 食缶等追加購

入の理由は。

**学校教育課** 当初、デザートは既存の入れ物を活用して運搬する予定だったが、あらためて精査し、調理業務委託業者の意見の中で、新

センターから距離がある学校もあることから蓄冷の対応できる食缶で運搬した方がより適切な状態での給食の提供に繋がるとの考えのため。

**遠藤公久副委員長** 町道本町

富山橋線舗装工事は、町道本町富山橋線道路改良工事とは別のものか。

**施設整備課** 議案第51号の町

道本町富山橋線道路改良工事に伴う舗装工事である。当初予算では舗装工事までを見込んでいたが、労務費及び資材費の高騰により、舗装工事が不足となったため今回、予算を計上した。

**▼議案第48号**

令和5年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

**渡辺文子委員** 介護給付費負担金の還付金が高額になっ

ているのは何故か。

**福祉保健課** 国庫負担基本額

の国の算定方法は、前々年度の実績額に過去3年間の伸び率の最大値を乗じて算出される。基本的に交付申請は1回限りで、交付決定後の事情の変更等により所要額に変更が生じた場合であっても、実績報告において返還または精算交付となるので、実績額を算出した結果である。

**◎主な議会の動き（令和5年4～6月）**

4月	5月	6月
3日 身延町辞令交付式	12日 第1回県町村議会 議長会議	30日 全国議長会会長会 （1日目・東京都）
21日 議会広報モニター意見交換会	17日 青少年身延町民会議 定期総会	31日 全国議長会会長会 （2日目・東京都）
25日 身延町スポーツ健康増進施設竣工式	18日 新々富士川橋建設促進期成同盟会総会	2日 第38回県監査委員協議会定期総会
29日 みすきふれあい館企画展 「岩本好 絵画展」 オープンセレモニー	23日 全国正副議長研修会 （1日目・東京都）	8日 身延町民ゴルフ大会 第13回和紙まつり
	24日 全国正副議長研修会 （2日目・東京都）	13日 湯之奥金山博物館 運営委員会
	25日 身延山開創750年 慶讃 御入山行列打合会議 商工会第19回総代会	16日 身延山伝承法要 身延山御入山行列 身延山御草庵法要
		17日 身延山御入山行列
		18日 身延山御草庵法要
		22日 富士山世界文化遺産 登録10周年記念式典
		23日 関東議長会会長会議 （1日目・山梨県）
		23日 関東議長会会長会議 （2日目・山梨県）
		27日 ICT授業見学 身延清校小学校
		※定例会、臨時会、各委員会等は除く

# 議案に対する賛否

(賛成：○・反対：×・欠席：欠)



遠藤 公久	深山 光信	佐野 昇	山下 利彦	佐野 知世	伊藤 雄波	望月 悟良	田中 一泰	広島 法明	野島 俊博	渡辺 文子	伊藤 達美	上田 孝一
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

第2回定例会 (6月5日～9日)	<b>●報告</b>												●議長は賛否同数のみ採決に参加します。	
	報告第5号	令和4年度身延町一般会計繰越明許費繰越計算書について	<b>報告のみ</b>											
	報告第6号	令和4年度身延町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について												
	報告第7号	令和4年度身延町一般会計継続費繰越明許費繰越計算書について												
	<b>●条例の一部改正</b>													
	議案第44号	身延町町営バス設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第45号	身延町学校給食センター条例の一部改正をする条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	<b>●補正予算</b>													
	議案第46号	令和5年度身延町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第47号	令和5年度身延町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第48号	令和5年度身延町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第49号	令和5年度身延町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	議案第50号	令和5年度身延町下水道事業等特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	<b>●契約</b>													
	議案第51号	町道本町富山橋線道路改良工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	<b>●人事案件</b>													
	同意第9号	身延町仙王外五山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第10号	身延町下山地区財産区管理会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第11号	身延町農業委員会委員の選任について（久保田茂和）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第12号	身延町農業委員会委員の選任について（望月信善）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第13号	身延町農業委員会委員の選任について（笠井雄一）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第14号	身延町農業委員会委員の選任について（二宮喜昭）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第15号	身延町農業委員会委員の選任について（渡邊龍巳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第16号	身延町農業委員会委員の選任について（上田 博）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
	同意第17号	身延町農業委員会委員の選任について（山下 貴）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
同意第18号	身延町農業委員会委員の選任について（遠藤克也）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第19号	身延町農業委員会委員の選任について（赤池良久）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第20号	身延町農業委員会委員の選任について（河西美恵子）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第21号	身延町農業委員会委員の選任について（笠井哲也）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第22号	身延町農業委員会委員の選任について（瀧川澄夫）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第23号	身延町農業委員会委員の選任について（伊藤文雄）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同意第24号	身延町農業委員会委員の選任について（土橋一彦）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第2回臨時会 (5月22日)	<b>●報告</b>													
	報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（身延町税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（身延町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（身延町国民健康保険税条例及び介護保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和5年度身延町一般会計補正予算（第1号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	<b>●補正予算</b>													
	議案第39号	令和5年度身延町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	<b>●財産の取得</b>													
	議案第40号	財産の取得について（普通消防積載車3台）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第41号	財産の取得について（可搬式消防ポンプ5台）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第42号	財産の取得について（複合遊具1基ステンレス低鉄棒1基）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<b>●契約の一部変更</b>														
議案第43号	ヤマメの里撤去工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

内容については、P5～P7の「第2回定例会及び第2回臨時会の主な議案and決まったこと」をご覧ください。

# 一般質問

一般質問とは、議員が町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行者に直接質すことです。また、執行者の所見や施策について報告を求めたり問い質すこともあります。質問の範囲は、町の行財政全般（公共事務、団体委任事務、行政事務の一切を含む）のほか、地域で住民生活に密着している事項など多岐にわたっています。

町政のあり方について質疑 6月6日

8人の議員が登壇

## 1 遠藤公久 議員……………13 ページ

- ① 身延中学校新校舎移転に伴う準備について
- ② 私立保育園支援など子育て環境の整備について
- ③ 行政サービスや学校教育のデジタル化について
- ④ 看護師不足の峡南地域の現状について

## 2 伊藤達美 議員……………14 ページ

- ① 人口減少の抑止策について
- ② これからの森林環境譲与税の予算化について
- ③ 空き家対策について
- ④ 女性管理職の登用について

## 3 山下利彦 議員……………15 ページ

- ① こども家庭庁の少子化対策への対応について
- ② 中部横断自動車道の「道の駅」とICについて
- ③ 若者定住促進政策の変更について
- ④ 観光立町身延町の観光推進体制について
- ⑤ 身延町地域公共交通活性化協議会について
- ⑥ 身延町公共施設等総合管理計画について
- ⑦ 「稼げる地域づくり」について

## 4 渡辺文子 議員……………16 ページ

- ① 補聴器購入費用の助成制度について
- ② ヘルシースパサンロードしもべの湯の料金について
- ③ 門野の湯とヘルシースパサンロードしもべの湯の温泉施設への交通手段について

## 5 佐野知世 議員……………17 ページ

- ① 環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画について
- ② 鳥獣被害防止計画について
- ③ 下部温泉街の空家旅館、商店についての見解について

## 6 佐野 昇 議員……………18 ページ

- ① 身延町の人口減少対策について
- ② 第2期身延町教育振興プランについて
- ③ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の実施状況について
- ④ 峡南シェアサイクル事業の電動アシスト付自転車の利用状況について
- ⑤ 各地区で行われていた区長会の開催について

## 7 伊藤雄波 議員……………19 ページ

- ① 身延スポーツ健康増進施設について
- ② しだれ桜の里づくり事業について

## 8 深山光信 議員……………20 ページ

- ① 飯富病院の現状について
- ② あげぼの大豆について
- ③ あげぼの大豆の鳥獣被害防止について
- ④ 国道52号の雨量規制について

○一般質問傍聴人数

10人の皆様が熱心に傍聴されました。  
ありがとうございました。

※ここに掲載の順位は質問の通告順によります。

※掲載の内容は、紙面の関係上、質問を要約し掲載しています。掲載されていない質問項目もありますので、ご覧になりたい方は議会事務局にお問い合わせもしくは各議員の一般質問にあるQRコードからアクセスして下さい。

# 看護師不足の峡南地域の現状について

**問** 看護師不足に起因する病床不足の現状分析は

**答** 飯富病院は、48床を休床中。身延山病院は、19床を休床中。2病院とも看護師が確保でき体制が整えば、再開する方針である（福祉保健課長）



えんどう きみひさ  
**遠藤 公久** 議員

## 身延中学校新校舎移転に伴う準備について

**問** スクールバス運行について、移転後の路線数、新たな対象予定者数の想定は。

**学校教育課長** スクールバス便7路線、タクシー便1路線を想定、生徒数160人中、148人の利用の見込み。

**問** 保護者説明会の実施方法意見集約の時期は。

**学校教育課長** 説明会は、夏頃実施。詳細は協議中。秋頃までに、意見集約を完了し、ルートを最終決定。運行前に試験運行等を実施する予定。

**問** 災害等、想定しうるあらゆる事態に対して、入校予定の教職員間で情報共有は。また、入校前の避難経路などの確認や避難誘導訓練の計画は。

**学校教育課長** 入校予定の教職員が確定するのは、令和5年度末人事異動の辞令交付後。初顔合わせは令和6年4月1日。初日の職員会議で、校務分掌が確定し、災害等の際に対応の基本となる危機管理マニュアルの役割分担も決定。情報共有

はこの危機管理マニュアルをもとに職員会議の中で行なう。入校前の4月1日から3日間を、教職員研修と位置づけ避難経路等を確認。入学式後全校生徒がそろったところで、教職員による避難誘導訓練と同時に避難訓練を行なう計画。



建設が進む中学校新校舎

## 私立保育園支援など子育て環境の整備について

**問** 私立保育園2園における光熱費・燃料費等物価高騰に対する具体的支援は。

**子育て支援課長** 医療機関・社会福祉施設等物価高騰重点支援金給付事業として、民間保育施設2園も給付の対象とし、今議会に議案を上程。

**問** 連携強化の為に定期的な訪問による調査や聞き取りなど、具体的な今後の対応は。

**子育て支援課長** 定期的な巡

回を実施し、どのような支援が適切であるか把握に努める。また、従前の会議等に引き続きご参加いただき、町の支援や実施事業もご理解いただきつつ、より連携が図れるよう対応する。

## 再質問 定期的な巡回の実施とは、具体的な頻度は。

**子育て支援課長** 3九月に1度の巡回を想定している。

## 行政サービスや学校教育のデジタル化について

**問** 本町の行政サービスのデジタル化推進の現状と今後の取り組みは。

**企画政策課長** 利便性向上の手段として、子育て関係15手続きと介護関係11手続き、被災者支援関係1手続きのオンライン受付を開始。住民票の写しと印鑑登録証明書のコピー二交付も実施。令和5年2月からは転入先市町村で手続きを完了する転入・転出手続きのワンストップを開始。今後、情報センターを中心に、各担当課と連携しながら、身延町独自の行政サービスに係るデジタル化も含めて取り組むを進める。

**問** 小中学校安心メールサー

ビスのスマホアプリ導入は。  
**学校教育課長** 教育現場での業務負担軽減や保護者の利便性向上などに資するサービスについて検討していく。

## 問 学校の教育現場の力リキユラムを想定し学習機能を追加したブラウザ版「桃太郎電鉄」教育版の導入は。

**学校教育課長** 有効なサービスと考えられるものについては、学校へ情報提供をする。

## 問 看護師不足の峡南地域の現状について

**問** 峡南地域、中でも身延町早川町、南部町とで地域の医療が抱える問題解決に向けた地域協議会の設置や地域医療機関との今後の連携は。

**福祉保健課長** 5月22日に3町、2病院、公益財団法人その他の関係者を構成員とした、峡南南部地域医療連携推進協議会を設立した。今後、この協議会において、峡南南部地域における病院間の医療連携等を推進し、今後の適正な当該地域の医療提供体制の在り方を検討していく。

## 女性管理職の登用について

問

本町における女性管理職の登用に関する考え方及びこれからの登用計画は

答

令和7年度までに、管理職の女性職員の割合20%（4人）を目指すこととしている（総務課長）



伊藤 達美 議員

### 人口減少の抑止策について

問 本町においては、人口減少に歯止めがかからない。

人口減少抑止のためには新たな「まちづくり」を推進するべきである。

新たな「まちづくり」のためには社会基盤の整備が不可欠である。その主要な施策は道路網の整備である。

本町における国道、県道、町道に関する幹線道路網の整備は、今後どのように推進されるのか。

**建設課長** 本町は、中部横断自動車道、国道52号、国道300号、主要地方道市川三郷身延線及び富士川身延線が骨格となる主要幹線道路を形成している。

国道52号は、その安全性と利便性の向上や交通混雑解消等に向け、バイパス建設等の整備促進や、降雨による通行規制の解消に向けた防災工事の実施を要請する。

国道300号は、令和4年12月に中之倉バイパスが完成し、2期及び3期の道路整備が計画されている。今後も富士山火山広域避難

計画を考慮した、道路整備を強く要請していく。

県道においては、主要地方道市川三郷身延線のバイパスや、中部横断自動車道中富ICと国道300号を結ぶ道路の建設、老朽化した県道橋の耐震化や架け替え、未改良区間や危険箇所等の早期整備を要請していく。

町道については、今後のまちづくりを見据えた道路整備や、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕に努める。

問

道路整備と並行して、企業立地のための事業用地を造成し、山梨県と連携する中で、新産業や先端技術産業の企業誘致を進めるべきだが。

**企画政策課長** 企業誘致は雇用の確保や経済の活性化など、人口減少対策の取り組みとして重要である。

企業立地を図る用地の造成は、企業誘致に適した平坦地が少ないため、先行した用地造成は、今のところ考えていない。しかし、雇用創出のためには、企業誘致は重要である。今後も

続いて助成制度のPRや用地に関する資料等の提供を行なっていく。

また、山梨県は社会実証プロジェクトを支援する「TRY! YAMANASHI」実証実験サポート事業」を行なっている。本町内では3事業者が実証実験を行なっている。本町への企業誘致に繋がる可能性も考えられる。実証実験サポート事業への協力を推進していく。

情報通信技術の進展などから地方への設置が増加したサテライトオフィスの誘致についても、推進していく。



### 女性管理職の登用について

問 女性活躍推進法などの施行により、日本における女性管理職は徐々に増加傾向にあるが、その比率はいまだ低い。女性が管理職に就くことによるメリットは多いことから、本町においても女性管理職の登用を増やすべきである。

本町における女性管理職の登用に関する考え方及びこれからの登用計画は。

**総務課長** 女性管理職の登用は、職場の多様性という面から重要である。男性とは違ったアイデアや考え方、仕事へのアプローチの幅が広がる。

また、女性管理職が増えることで、後に続く若い女性職員の意欲向上にもつながる。したがって、管理職への女性の登用は出来るだけ積極的に行なっていく。なお、令和2年度策定の身延町特定事業主行動計画において、令和7年度までに管理職の女性職員の割合20%（4人）を目指すこととしている。

# 稼ぐ自治体・稼げる地域づくりについて



やました としひこ  
山下 利彦 議員

**問** 地域活性化は地域力を高めること。あけぼの大豆の「契約栽培」という販路拡大への考えは

**答** 栽培が軌道に乗り余裕が出てきた場合には、企業とのタイアップも必要と考える（町長）



## 中部横断自動車道の「道の駅」

**問** 国は高速道路の道の駅を2025年までに新たなインバウンド観光の拠点として、また、大規模災害時、各地域の防災拠点として、更に近県とのネットワーク基地として道の駅を重要な施設と位置付けている。高速道路社会において多方面の期待が寄せられている高速道路に直結する道の駅の建設は重要であり、時代の流れから必然と考える。前回の一般質問に対して建設しないとの答弁だが再度、道の駅の建設について町の考えを伺う。

複施設など、公共施設総量の適正化処理は早急に取り組むべきである。対象施設の年間維持費と、274ヶ所の管理施設の財政負担軽減の今後の削減計画は。

**財政課長** 年間維持費は4億3475万8000円。削減計画は個別施設計画により、利用者や対象地区との議論をしながら実施する。

**町長** 町内の至る所に様々な観光施設がある。観光客が通過や一極集中することなく町を周遊するような「道の駅」の整備を考えている。道の駅第3ステージにおける国交省の考えだが、本町が進める道の駅の方針とずれているものではない。

**建設課長** 町営8団地、町有1団地において長寿命対策による入居者の安全で良好な住宅環境を図るため修繕等を実施している。また適切な更新及びライフサイクルコストの縮減を図っている。

**町長** 現在、町内で種子の確保や栽培が軌道に乗り余裕が出てきた場合には、企業とのタイアップというところも考えていく必要がある。

## 身延町公共施設等総合管理計画

**問** 三町が合併してから約20年。合併に起因する機能重

## 稼げる地域づくり

**問** 人口減少による地方税減少傾向の中、今までの地方

交付税など外からの財源を配分する手法での事業展開は限界にきている。自立した持続可能な自治体経営への転換は、地方資源を生かす、足元から産業と雇用をつくり出し、地域振興を図る「稼ぐ自治体」を作っている。その形態の一つにトップセールス、すなわち町長自らが町の特産物を企業との全量買い取り契約を締結することによる「契約栽培」という販路拡大体制がある。

**町長** あけぼの大豆の地理的表示(GI)認定は企業が求める品質の保証であり、交渉の好条件と考える。また契約栽培は確実に現金化される安定収入の販路であるため、若者の就農が促進され、生産者の高齢化問題の解消や、また生産量の安定調達実現に関して耕作地の拡大や機械化の推進を促し、耕作放棄地の減少と人手不足が解消される。持続可能な農業を支える観点からも現在の販路に加え、企業と全量買い取り契約による契約栽培の販路拡大をトップ

**問** 市町村内総生産額というデータがある。2019年時点での数値によると身延町は27市町村のうち24位である。今後、自治体は稼げる地域を作るとともに、自治体自らが稼ぐという考えで地域力を高めることが重要と考える。地域活性化に繋がる町内の総生産額を上げるには販路拡大が必要不可欠である。そのためには町長の企画力・突破力で契約栽培の販路拡大に取り組んで頂き、独自の自立した持続可能な自治体経営の実現はどうか。

**町長** 現在、町内で種子の確保や栽培が軌道に乗り余裕が出てきた場合には、企業とのタイアップということも考えていく必要がある。

# 町民誰もが利用しやすい温泉施設に

**問** 障がい者にも無料回数券を

**答** 今定例会に予算計上した（福祉保健課長）



わたなべ ふみこ  
**渡辺 文子** 議員

## 温泉施設の無料回数券は

**問** 障がいを持っている方々から、色々な施設で障がい者は無料や割引があるが、しもべの湯はないので利用が難しいと聞いたが、町としてどう考えるか。

**福祉保健課長** 町社会福祉協議会から無料回数券の交付を障がい者にもしてほしいという要望書が出された。協議の結果、身体障害者手帳1級から3級の町民の方にもしもべの湯の無料回数券5枚交付の関係予算を今定例会に計上した。

**問** これまでであった後期高齢者への温泉の無料券はどうなるのか。

**福祉保健課長** 令和4年度までは、門野の湯と温泉会館の共通の無料回数券10枚を配布してきた。今年度はしもべの湯と門野の湯の共通の無料回数券5枚を配布する。

**問** 門野の湯では今までどおり障がい者は無料なので

しもべの湯でも割引などがあるといいが。

**町長** オープンしたばかりなので、まずスタートし、どこまでの支援が可能なのかお互いに歩み寄りながら考えていきたい。

## 温泉施設への交通手段は

**問** コロナ感染対策のために中止されていた門野の湯への送迎バスの今後の方針は。

**福祉保健課長** 送迎バスの運転手の確保を含め、利用者の状況や費用などを勘案し、町民の方々からの要望も聞きながら委託先や関係機関と検討したい。

**問** ヘルシースパサンロードしもべの湯を多くの方に利用してもらうためには、送迎バスが必要だと思うが、町としての考えは。

**生涯学習課生涯スポーツ担当主幹** 送迎バスは事業者が集客対策の手段として、運行するもの。大勢の町民の方が既存の公共交通を利用して、来ることが出来るようになるため、今まで下部温泉駅

に乗り入れなかった既存の公共交通路線も乗り入れができるよう、利便性を高める検討をする。

**問** 地域的にも駅までが遠くて大変という人も多いので考えなくてはならないと思うが、いつでも元気で幸せに暮らせる健康づくりをテーマにして造った施設で年間2000万円の税金を出すので多くの町民の方が利用しやすくする必要がある。

**教育長** 税金を使うこともあり、実態を把握する中で何がいいのか責任を持ち検討したい。

## 補聴器購入費用の助成制度を

**問** 65歳以上で6割近い高齢者が加齢性難聴になると言われている。認知症予防や健康寿命を伸ばすためにも難聴者に対して、補聴器購入費用の一部の助成制度の実施が望まれる。県内で初めて今年度から山梨市で実施するが、全国的には143自治体で実施してい

る。町としてどう考えるか。  
**福祉保健課長** 令和5年度から県内で初めて実施している自治体があるのは承知している。近隣自治体の動向にも注視し、町民の方々からの要望も聞き、財政的にも助成が可能かどうかなども含め、研究・検討したい。



武田信玄公かくし湯の里 ヘルシースパサンロード しもべの湯

# 環境負荷低減事業に関する基本的な計画について

**問** この町の農業従事者への周知の方法等は

**答** この計画についてはホームページに掲載し、全町民に周知をしている。今後の状況により必要あれば周知の方法を検討していく（産業課長）



さのちせい 議員  
佐野 知世



ロゴマーク

「取組面積」などについて、令和8年を目標年度として農業者が取り組む計画。主な活動内容としては有機資材使用による土づくり、4パーミルイニシアティブの「取り組み」といった項目が掲載されている。

## 環境負荷低減事業について

**問** 山梨県とすべての市町村で新たに策定された環境負荷低減事業計画の概要を説明願う。

**産業課長** この計画は令和4年5月公布、同年7月に施行されたみどりの食料システム法に基づき策定されたもので、本県における環境と調和した農林水産業の実現を目指すもので、「化学肥料由来の窒素使用量、化学合成肥料の使用成分や回数」「有機農業取組面積」「環境に配慮した農産物作付の取組面積」などについて、

## 問

取り組みの一つであるバイオ炭についてだが、圃場で剪定枝や刈草を燃やしてバイオ炭を製造することになるが、消防法の規制内の範囲はどの位か。

**産業課長** 農地で剪定した枝や刈草のみを自らの管理する土地で燃焼することについては、特に届け出の必要はないが、多量になる場合は事前に消防署に相談する必要がある。また、煙等についても交通の妨げや近隣への迷惑にならないよう配慮が必要である。



商品への表示

### 【4パーミルイニシアティブとは？】

土壌中に含まれる炭素を増やすための取り組み、「全世界の土壌に含まれる炭素量を、毎年4/1000ずつ増やしていけば、大気中のCO<sub>2</sub>を相殺することになり、結果的にCO<sub>2</sub>増加量をゼロに抑えられる」という考えにもとづいている。

## 下部温泉街の空家旅館対策

**問** 下部温泉には現在、全く無人の空家旅館・ホテルが5軒、商店が2軒、住んではいないが廃業又は休業した店舗が何軒もある。

全盛期には35軒あった旅館ホテルも今は3分の1に減ってしまっている。この問題については、区や観光協会で何度か議題に上がり、防犯、防災、活性化の面で話し合いがもたれたが、打開策が出てこないのが現状である。債権者もほったらかしである。このことに町の見解を伺う。

**観光課長** 下部温泉の現状について、個人または債権者が権利を有する物件について町が干渉することが出来ないで個人の責任において処理してもらうこととなる。下部温泉の観光地としての再生、景観づくりに取り組む場合は、区、観光協会、事業者等が同一の方向性を持った長期的なビジョンを描き地域一体となり主体的に取り組む必要がある。まずは地域において検討頂きたいと思う。

# 人口減少について

**問** この町の現状をどのように捉えているのか  
また、町をどう導こうとしているのか

**答** 人口減少がこのまま続けば将来的には、経済規模の縮小や生活水準の低下に繋がることが懸念される  
(企画政策課長)



さの のぼる  
**佐野 昇** 議員

## 人口減少対策について

**問** 人口減少は恐ろしい勢いで加速している、町の現状をどのように捉え、どう導こうとしているのか。

**企画政策課長** 人口減少は、全国的な規模で進行し、大きな問題となっている。このまま続けば将来的には、経済規模の縮小や生活水準の低下に繋がることが懸念される。対策については、町民アンケートの結果から本町の特性を生かした施策と目標を定め、総合戦略を策定し取り組みを推進しており、特に若者の定着定住を図る取り組みとして、日本一の子育て支援策を展開。今後も総合戦略推進委員会を柱に取り組みを推進していく。今年度は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を受け、デジタル技術の活用を追加する改訂を行い、引き続き取り組みを進める。

**問** 第1回定例会で町長の施政方針では、総合戦略に掲げる目標を確実に達成できるように、遂行可能なアクションプランを計画した予算編成を行なったと話している。人口減少に歯止めをかける主要施策として、企業誘致や子育て世代の住宅建設などが今必要である。リスクを恐れず内容の決断、優先順位をつけて進めるべきと判断するが。

**企画政策課長** 県と連携した助成制度や用地に関する資料等の提供により誘致を推進したいと考えている。特に推進する区域については、情報発信しておりまた未利用の町有地についても民間の有効利用に向け情報提供している。子育て世代の住宅建設については、候補地の選定・区画案の作成等、建設に向け検討を進めている。質問の優先順位については、施策毎に進捗状況には幅があり、それぞれ重要な施策として一体的に進めているので、理解してほしい。

**教育長** 教育方針に掲げる各項目については、「教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」の中で実施状況を振り返り、成果と課題を整理し、結果を町のホームページで公表しており、報告書を通じて翌年度以降の取り組みに反映、実効性のあるプランの推進に努めている。4年間の取り組み成果例として、教育環境の整備・ICT（情報通信技術）を使った教育の充実・中学生のイングリッシュキャンプを東京で実施し、外国語教育の最先端事業を展開等。保護者負担の軽減策では、入学支度金の増額・修学旅行費の全額補助・英検等の検定料の全額補助など徹底した軽減策が図られている。また生涯にわたる健康づくりの一役を担うべく、身延町スポーツ健康増進施設をオープンした。

**問** 第1回定例会で教育長の教育方針では、第二期教育振興プランに基づき、明日を担う子どもたちを育成するため、新しい時代に求められる課題に対応しながら

## 町教育振興プランについて

**問** 教育方針に安全・安心な学校づくりの推進がある。学校への防犯対策に対する指導・指示について伺う。

**教育長** 防犯対策については各学校に防犯カメラが複数設置しており、常時死角のない配置によって職員室からもモニターでき、不審者には十分に注意を払える状況です。また学校では危機管理マニュアルを作成し、不審者対応マニュアルも整備している。

**問** 安全計画の提出状況とその問題点の有無は。

**子育て支援課長** 厚労省子ども家庭局保育課発出の事務連絡に示された計画例に基づいた策定を行っている。また指導監査で監査対象資料とされ、評価を受けており計画については問題がないものと考えている。

## 他の質問事項

- ・安全計画の内容とチェックについて
- ・峡南シェアサイクル事業について
- ・区長会の開催について

# スポーツ健康増進施設について

**問** 入湯税特別徴収義務者における町民入湯税無料化できないか

**答** 入湯税は原則目的税であり、重要な財源の為、現時点での新たな減免の適用は考えていない（税務課長）



いとう おなみ  
**伊藤 雄波** 議員

## スポーツ健康増進施設 オープン後の状況

**問** スポーツ健康増進施設のオープンからこれまでの期間で利用者数、またサンロード側からの手応え等は、生涯学習課生涯スポーツ担当主幹

オープンから5月末までの集計で、入館者総数は延べ9924人、入浴のみの利用者9167人、ジム利用者579人、レストラン・リラクゼーションのみ利用者178人、入浴のみの場合、町内利用者が約20%、ジム利用者が約70%となっている。連休後も考えていた以上の入館者があり、入館者数は順調に推移している。

**問** アンケート用紙の配布等は行なっていないようだが改善点や修正点など、何か報告できれば伺いたい。

生涯学習課生涯スポーツ担当主幹

運営維持管理会議を毎月実施することとしており、5月22日に第1回目の会議を開催した。来館者に頂いたご意見を事業者と町で共有し、今後の運営につなげることを確認した。

**問** 来館者にいただいたご意見とは。

生涯学習課生涯スポーツ担当主幹  
一部携帯電話会社の電波が受信できない。サウナの温度が高いため湿度が低い。利用料金が低い。スポーツジムを見学してから利用を決めたいが、施設を利用しないと見学できない、等がある。施設利用者が快適に利用できるよう、来館者からの意見に迅速に対応していく。

**問** JRの踏切だが、健康増進施設ができたことで状況が一変した。事故が起こったからでは遅いのでその前に手を打ちたいかが。

建設課長 健康増進施設建設

時の令和2年1月にJR東海と協議をしたが、駅の物理的要因から困難との回答をいただいている。人の流れも変化していることから踏切の拡幅について、道路管理者である山梨県にJR側とも協議していただけるよう要望をしている。

## しだれ桜の里づくり事業 について

**問** 集客に向けて、いろいろ



富士川クラフトパークのしだれ桜

大々的なお披露目を予定しているか。すでに集客できる状況にあると考えるが、花を見ていただくだけではなく、キッチンカーや店売店の設置など、現状でできるサービスもあろうかと考えるが。

**観光課長** 木々の成長に伴い開花時期には見て楽しんでいただけるスポットになりつつあり、しだれ桜の鑑賞目的に来訪される方も増えてきた。将来的には集客イベントの実施を検討するが、当面は観桜期の集客に向けた対応とサービスについて富士川クラフトパークと連携して検討する。

**問** 臨時駐車場として活用を予定している、早川沿いの中部横断自動車道の残土処理場について、国土交通省との交渉や工事の進捗状況は。

**建設課長** 中部横断自動車道栗倉建設発生土搬入場については、現在、早川護岸の約9割、排水路整備の約6割と、盛り土搬入の約5割が終了している。富士川クラフトパークの混雑時の臨時駐車場として利用できるように国や県に要望をしている。

**問** 木々の成長に伴い、将来的に桜が混み合い干渉するのではないかと心配されるが、今後の管理についての町の見解は。

**観光課長** 10年単位の長期スパンにおいては、管理方法の見直しを検討する時期があるろうかと考えられるが、その時点での最良の対応を取る必要がある。10年間の補償期間が経過したのちにあっては、クラウドファンディングによりご協賛いただいた方々が、しだれ桜の里づくりの協力者として名を残せるような配慮は必要と考えている。

# 飯富病院の現状について



ふかやま こうしん  
深山 光信 議員

**問** 飯富病院の経営状況は 10 年前に比べるとどうか

**答** 10 年前と比較すると、経営は悪化している  
(福祉保健課長)



## 飯富病院の現状について

**問** 10 年前には病床率も 100% 近く利用があり、経営もよかった。10 年前から医療従事者の方は、経営が難しいという話をしていたというが、現在の病院の経営状態は、10 年前に比べるとどうか。

**福祉保健課長** 飯富病院事業

会計の損益計算書によると平成 24 年度の当年度純利益は 4289 万 557 円の赤字決算だが、令和 4 年度の当年度純利益の見込みは 4974 万 9038 円の赤字決算となる。10 年前と比較すると経営は悪化している。

**問** 令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症関連の補助金が入っている。令和 4 年度に限っては 2 億 2000 万円の補助金が入っている中で、5000 万円弱の赤字である。単純計算で、コロナ関連の補助金がなければ、実質 2 億 7000 万円の赤字である。病院の本業である「医療費用」は「医療収益」

「医療費用」は「医療収益」でまかなえているか。

## 福祉保健課長 飯富病院事業会計の令和 4 年度損益計算書の見込みですが、医療費用 12 億 4917 万 2969 円に対して、医療収益が 9 億 7288 万 6787 円であるので、医療費用を医療収益でまかなえていない。

でまかなえていないか。

## あけぼの大豆について

**問** 令和 4 年第 2 回定例会において、あけぼの大豆の地理的表示 (GI) 保護制度取得後の本町の今後の取り組みや計画等はあるか質問をした。その際、生産者に対しての現地調査の実施、生産管理の徹底を図り、その上で生産量の拡大とともに販売拡大を進めていくとの答弁があったが、その評価は。

**産業課長** 「生産者に対しての現地調査の実施、生産管理の徹底」につきましては、あけぼの大豆振興協議会が販売目的で作付けた圃場を中心に現地調査を実施し、生育状況・病害虫の有無・異品種混同の有無などを確認し、データ収集と同時に指導も実施した。適切な栽培

は品質の保持と生産量の拡大につながるものと考えられる。

出荷量は、令和 3 年度と令和 4 年度を比較すると、大豆は収穫期の関係で現在取りまとめ段階ですの

で申し上げることはできないが、枝豆は、令和 3 年度が 2 万 6738 キログラム、令和 4 年度が 2 万 7621 キログラムと 1000 キログラム近い増となった。

「販路拡大」は、令和 4 年度は JR のイベント「はこびユン」への参加・町村会からの依頼で「全国連携展示」参加・日本全国ふるさとマルシェ・ふじのくに山梨物産市 in 静岡・県民の日に参加するなどの PR 活動を行なった。

**問** あけぼの大豆にとっては種子が一番大切かと思うが、その種子について安定した生産ができていくか。

**産業課長** 現状、必要な種子確保はできている。安定生産はできている。

他の質問事項

国道 52 号の雨量規制について

## あけぼの大豆の鳥獣被害防止について

**問** 令和 5 年度身延町鳥獣害防止計画が策定され、令和 3 年度の被害状況が掲載されている。二ホンシカや二ホンザルの被害の約 3 分の 1 以上が豆類になっている。特産品であるあけぼの大豆を守らなければならぬ。鳥獣害の駆除で、猟友会に対応していただいているか。

**産業課長**

あけぼの大豆の生産者に特化しての対応体制はない。有害鳥獣に関する相談があった際は、猟友会と連携し、迅速に対応する。

鳥獣種類	品目	被害面積	被害金額
二ホンシカ	豆類	83a	577 千円
	雑穀	96a	180 千円
	野菜	75a	809 千円
	計	254a	1566 千円
二ホンザル	豆類	155a	996 千円
	果樹	146a	855 千円
	野菜	100a	596 千円
	麦類	39a	2 千円
	水稲	43a	73 千円
計	483a	2522 千円	

令和 3 年度 被害の現状

# 町長行政報告



もちづき みきや  
望月 幹也 町長

## 町内の事業者への支援と地域での消費喚起を促すため、 町民1人当たり5000円の身延町みのワン商品券給付事業を実施

### ◇はじめに

新型コロナウイルス感染症は、ご存じのように5月8日をもって、感染法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行した。

しかし、新型コロナウイルス感染症が無くなったわけではない。町民の皆様には、是非引き続き、感染防止対策をお願いするとともに、町においても、ワクチン接種事業や、経済対策のための給付金、商品券給付事業を行なっていく。

町民1人当たり5000円の身延町のワン商品券給付事業を実施。エネルギー等物価高騰への支援が主な目的。医療機関・社会福祉施設等物価高騰重点支援金支給事業として、医療機関、高齢者施設、障害者施設等及び民間保育園の区分に応じて支援金を支給する。

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業として、令和5年度の住民税非課税世帯を対象に3万円を支給する。

### ●令和4年度一般会計及び特別会計の決算処理

令和4年度一般会計及び特別会計の決算処理が5月末日付で行われ、全会計において黒字決算となる見込みである。

### ●子育て世帯生活支援特別給付金事業状況報告

令和5年5月末現在、32世帯、56名に一人あたり10万円、合計560万円を支給。

### ●ヘルシースパサロードしもべの湯来館者数

オープンから5月末までの入館者数は、延べ9924人。このうち町内利用者の割合については、入浴のみが約20%、ジム利用者は、約70%となっている。

### ●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金補助金

町内の事業者への支援と、地域での消費喚起を促すため、

ている。

利用者の声については、アンケートを取ったわけではないが、従業員の方からの聴き取り、また、SNS等ネットへの書き込みも確認しているが、好評を頂いている。今後はリピーターを増やしながら、新規の来館者の獲得に向け、事業者と協力していく。

### ●中学校新校舎等整備事業

昨年9月1日に起工式を行ない、本格的な工事着手となり、基礎工事の地盤改良、躯体基礎及び耐火コア部のRC棟築造が完了している。4月21日には正面玄関に、身延山久遠寺様からご寄付いただいた丸太材の建て方を行なった。現在は、西棟の2階及び屋根組みがほぼ完了し、中棟の工事へと移行しており、メインの木の香ホールの6本の丸太材の建て方も終わり荘厳な姿を見せている。

また、5月16日には、工事現場内において、町内3小学校の3年生から6年生182

名を対象とした「梁材への寄せ書き」のイベントを開催。

7月12日には中学2年生と3年生106名に参加してもらい、上棟式（建前）を開催予定。

9月下旬には中学1年生49名を対象として、県内でも最大級の木造建築物である新校舎の現場見学を行ない、キャリア教育を実施。

身延中学校新校舎は、来年4月の開校を予定しています。これまで以上に請負業者や関係機関との調整を密にし、工期の遅れなどないよう工程管理を徹底するとともに、無事故で工事が完成するように心がけていく。

### 【他に話されたこと】

●新型コロナウイルスワクチン接種事業について

●学校給食センター建設事業

●身延町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の選任

# 議会広報モニター意見交換会

日時

令和5年4月22日（金）  
午後7時30分～午後8時55分

場所

身延町役場  
本庁舎2階第1会議室

出席者

議会広報モニター 5名  
市川 正文 氏  
佐野 道子 氏  
土橋 一彦 氏  
望月さと子 氏  
望月 千春 氏

議会広報編集委員会委員 5名

伊藤 達美 委員長  
深山 光信 副委員長  
遠藤 公久 委員  
佐野 昇 委員  
佐野 知世 委員  
上田 孝二 議長



当日出席いただいた議会広報モニター5名の方とより良い議会広報作成のため、貴重な意見をいただきました。  
今後の議会広報の製作に活かしていきたいと思えます。

## 主なご意見

- ・若い人のモニター参加を。
  - ・文字が多いので写真の掲載を多くした方が良い。
  - ・町の広報と異なる深堀した記事の掲載を希望。
- 他たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。

# 自治功労者表彰式・ 町村議会議員研修会

日時

令和5年5月26日（金）

場所

山梨県自治会館

出席者

上田 孝二 議長  
伊藤 達美 副議長  
渡辺 文子 議員

## 山梨県町村議会議長会表彰

議会議員10年以上の在職者  
柿島 良行 氏



## 講演内容

「人口減少時代における町村議会の課題と展望 — 議会の機能と政策形成能力向上に向けて —」についての講演に出席し、現状の本町と重なる内容について学習した。

# 身延清稜小学校、ICT教育の現地視察を実施

令和5年6月27日、議会では、身延清稜小学校の視察を行なった。学校はICT環境（タブレット端末）を積極的に活用した教育を実施している。また、県教育委員会指定の「小学校プログラミング教育推進事業」の推進指定校として研究を進めている。



子ども達がタブレットを使って楽しんで資料作りや問題を解く姿を視察し、一生懸命に取り組む様子を見て、ICT教育の重要性を再認識した。

### ★表紙について (P1)

- ・花壇のお花との写真でしたが、もっと子供の動きや、何かしている様子が良いように思います。

### ★第1回定例会、第1回臨時会議案説明 (P2~3)

- ・情報量が多く、じっくり読まなければなかなか理解できない内容ですが、構造的に大分読み易くなっていると思います。
- ・ひとめ見て字数が多いので、内容が固そうだなという印象を持ってしまいました。

### ★新年度予算 (P4~5)

- ・依存財源と自主財源が、3:1と国や県から多く割り当てられていることが分かります。過去5年分の比較できる表があると良い。
- ・自主財源、赤字。依存財源、青色。非常に町の課題を表現しようと好感できますが、数年の傾向を伝えて欲しい。歳出の中にな財政運営がどの位の比率なのか知りたいです。判るような工夫を期待します。

### ★常任委員会レポート (P6~10)

- ・議員の皆様の活躍が感じられ、良いレポートだと思います。委員の皆様への質問も興味深く、読ませていただきました。せっかくの素晴らしいレポートですが、委員の方の質問(黒字)と答え(青字)が少し読みづらく思います。答えの青い字を太字にするなどすれば読み易くなるのではと思います。
- ・昨年度に比べると紙面を工夫しているのがわかる。タイトルを青で囲ったり、質問者の名前を載せたりして読みやすくなってきたと思う。是非多くの人に読んでほしい、町の事業内容を知ってほしい。

### ★議案に対する賛否 (P12)

- ・議案に対する反対意見の内容が前頁に記されていて連動しているのが分かりやすかったです。しいて言えば前頁をめくることなく見開き左右で見られるとより良いと思います。

## モニター通信

(議会だよりNo74の意見・感想等)

議会広報モニターの皆様のご意見・ご感想等を要約したものです。貴重なご意見等を参考に、町民の皆様の「心に伝わる」議会だよりを目指します。

### ★一般質問5人 (P13~18)

- ・登壇された議員の皆様には、日頃の町民の為の活動に感謝いたします。只、前回の意見においても見受けられましたが、質問をされる議員の方がいつも同じという印象があります。議員の皆様が精力的に活動しているどうか一般質問での登壇で判断している町民の方も多いと思います。今回登壇されなかった議員の皆様への次回の登壇を期待します。また、議員の声掛けから始まった一般質問傍聴人数の増加が見受けられます。一般質問の傍聴者数をもっと大きく記載することで今後の傍聴者数の増加につながるのではないかと考えます。
- ・新校舎の移転後の身延中についての質疑に現状がよく理解できたが解体は残念に思う。なにか他に利用できないものか。

### ★町長施政方針 (P19)

- ・近況の報告として、とても伝わりやすいです。身延中新校舎完成に伴い、町内の子供に対して町からの手厚いサポートがある事をより広めていただき、世帯が増えることに期待します。
- ・町の歌「おかえりなさい少年たち」YouTube5万回視聴突破について、何十回と見ましたがノスタルジーな雰囲気曲と映像がとてもマッチしていて、とても良い出来で身延町をイメージできます。



### ★教育長教育方針 (P20)

- ・サンロードしもべの湯の中にあるスタジオが町内の子ども達にも利用できるような教室が開かれることを個人的には期待しています。

### ★組合議会報告 (P21)

- ・各議会の概要が分かり易くまとめてあるので色付けして目を引くようになっているとより良いと思います。

### ★町民と議員との懇談会お知らせ (P22)

- ・懇談会のお知らせは目を引く構成になっている。申し込み不要も良いと思う。年齢制限はあるのか？若い人でも良いのか？も付け足すと一人では行けない人も声をかけて参加しそうな気がします。

### ★モニター通信 (P23)

- ・毎回、楽しみに拝読させていただいております。各項目順に並べたほうが分かりやすいと思います。

### ★おじゃまします (P24)

- ・弓道部があるとは知りませんでした。「おじゃまします」ではいろいろな団体を紹介してくれるので良いコーナーだと思います。

### ★町政へのご意見・ご要望

- ・昨年度の70号の議会だよりと比べると進化してきています。見出しに色付けしたり、文字を色で囲ったり、文字を太くしたり、写真を明るくしたりと読みやすくなってきていました。ぜひたくさんの方に読んでほしいと思います。機会があったら、議会だよりをどのくらい読まれているか調べてみるのも良いと思いました。
- ・巣ごもり生活も少しずつ朝の光のように終りに近づく気配が感じとれた。4月28日から「武田信玄公隠し湯しもべの里」もオープン、前向きに地域資源を活用し全国に「身延」を発信し、住みやすい町、暮らしやすい町に町長をはじめ、議員多くの皆様よろしく願い致します。



# 飯富フラワーアレンジメント教室

フラワーアレンジメントは、給水スポンジ（オアシスやフローラルフォームと呼ばれています）に花を挿していきます。花の長さの組み合わせや色合いを自由にデザインすることができます、色々楽しむことができます。

月に一度、小さいけれど生花のパワーを感じながら楽しんで癒されています。



## 編集後記

公共も民間と同列で物事を考えることがあってもよい。行政はサービス業である。民間では売り上げが激変したら人員削減を行ったり、顧客確保のための販売促進策を講じるなど、環境の変化に柔軟に対応する。理屈は多々あるが、公共ではそれがなかなか実施できないと言う。しかし、そんなことを言っている間にも、社会経済は確実に変化していく。旧態依然たる方法で施策展開を行なうことは、機会の利益を逸することになり、住民の意思に反するのではない。そんな思いを強くしている。

議会広報編集委員会

(達美)

- 委員長 伊藤達美
- 副委員長 深山光信
- 委員 遠藤公久
- 委員 佐野昇
- 委員 山下利彦
- 委員 佐野知世

☆開催場所  
飯富ふれあいセンター

☆開催日時  
第3火曜日  
午後7時30分～

☆講師 望月 久美子  
☆連絡先 郷野 百合子  
0556-42-4551

過去の議会だよりは、こちらから閲覧できます

